

令和5年度 上河内西小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="radio"/> 自立（ひとりで） ・ 進んで学べる子 ・ 自ら考え解決できる子 ・ 自信をもって行動できる子 | <input type="radio"/> 共生（なかよく） ・ 人とつながりともに生きる喜びを感じる子 ・ 思いやりがある子 ・ みんなのために働く子 | <input type="radio"/> 逞しさ（たくましく） ・ 進んで運動し、活力のある子 ・ 最後まで粘り強く取り組む子 ・ 健康な心と体をつくる子 |
|---|---|---|

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学びがあり、仲間がいて楽しい学校、子どもを学ばせてよかったと思える学校づくり」のテーマのもと、全職員が、相互信頼と協働性を基盤に学校経営に参画し、目指す児童像に対応した教育活動の実践に努める。

目指す学校像

- | | | |
|--|---------------------------------------|-----------------------------|
| <input type="radio"/> 学びのある学校 | <input type="radio"/> 仲間のいる学校 | <input type="radio"/> 楽しい学校 |
| <input type="radio"/> 子どもたちを学ばせてよかったと思える学校 | <input type="radio"/> 地域とともに子どもを育てる学校 | |

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 児童一人一人が持続可能な社会の担い手となるよう英気あふれる学校をつくる。
- (2) 学びに向かう環境を整え、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。
- (3) 自らの目標に見通しをもち、粘り強く挑戦する資質・能力を育む教育活動の充実を図る。
- (4) 児童一人一人の実態や状況に応じた指導・支援を組織的に行う。
- (5) 家庭や地域の信頼に応える「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- (6) 教育公務員としての使命を自覚し、和と協働の精神を大切にして、教育的な専門性の向上に努める。
- (7) 職務の遂行に際しては、業務の効率化を推進するとともに、教育の質の向上を目的とする働き方を心掛ける。
- (8) 上河内地域学校園の連携による義務教育9年間を一体とした指導を推進する。

[上河内地域学校園教育ビジョン]

かしこく、たくましいゆずっ子の育成

～ 基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 小学校学習指導要領や第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画の趣旨を踏まえた教育課程の編成・改善に努め、教育目標の具現化を図る。
- (2) 学習の基盤となる資質・能力を育成し、児童の学びの融合・統合が図れるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点で編成を行う。
- (3) 児童に生きる力を育むことを目指し、学校の創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開できるよう編成する。
- (4) より確かな児童理解に基づいて、「楽しく分かる授業」「個に応じた指導」を展開し、基礎・基本の着実な定着を図るよう編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
 - 確かな学力の定着、向上に向けた、学びに向かう環境づくりを通じた望ましい学習態度の育成
 - ・ 見通しをもち、粘り強く課題解決に取り組む資質能力の育成
 - ・ 教職員の授業力や学級経営力等の資質の向上に向けた取組の推進
 - 地域学校園小中学校、保護者、地域関係者と協力し、地域の教育資源を活用した学習活動の推進
 - ・ 同僚性や協働性をもった教職員集団による、業務の効率化やワークライフバランスを意識した働き方改革の推進
- (2) 学習指導
 - ・ 児童が自ら粘り強く取り組むための授業改善
 - ・ 課題を追究・解決していく話し合い活動の充実
 - 基礎学力の向上を目指した授業づくりの工夫
- (3) 児童生徒指導
 - ・ 基本的な生活習慣を身に付け、ルールを守って行動する児童の育成
 - 確かな児童理解に基づいた多様な児童の状況に応じた指導の充実
 - ・ 児童一人一人のよさを認め、励ます教育の充実
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
 - ・ 一人一人が体力向上、健康や安全に関することに興味をもち、進んで行動する児童の育成
 - ・ 体力の向上に向けた体育の授業の充実
 - ・ 自己の健康課題を把握し、健康的な生活習慣を身に付けるための指導の充実
 - 望ましい食習慣とマナーの育成
 - ・ 危機回避能力育成のために、効果的な避難訓練の実施

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

| 項目 | 評価項目 | 主な具体的な取組 | 方向性 | 評価：↑・↓は前年度との比較 5ポイント以上 | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|------|------|--------|-------|-------|------|-------|
| 目指す児童の姿 | A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合80%以上 | ①主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学習課題の提示の仕方、振り返りの仕方を工夫した授業の展開に努める。 ②各教科等において、情報の集め方や発表の仕方を習得できるように指導するとともに、考えを伝え合う学習の場を設定するよう努める。 | B | 【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>90.9</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>89.2</td></tr> </table> <p>意見を伝えあう場を設けたことで児童の意識が高まった。 【次年度の方針】 児童が対話する場を引き続き設け、主体的に取り組む授業の展開を工夫する。</p> | 児童 | 90.9 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 89.2 | |
| | 児童 | 90.9 | | | | | | | | | |
| | 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | |
| | 保護者 | 89.2 | | | | | | | | | |
| A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合85%以上 | ①道徳科の授業を生かし、自分と異なる意見についてもしっかり考えさせ、他者を認める雰囲気づくりを醸成する。「ふわふわ言葉」の推奨を継続する。 ②縦割り班活動や異学年交流活動を充実させ、相手の気持ちを思いやったりやさしい言葉遣いができるように指導し、学年だより等で保護者に知らせる。 | B | 【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>84.4</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0↑</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>91.9↓</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>90.0</td></tr> </table> <p>教職員の肯定的回答割合が昨年より増加したが、保護者の割合は減少した。 【次年度の方針】 縦割り班活動や異学年交流活動を通し、認められる機会を多く設定したり、他者のよさに目を向けたり、思いやり助け合える児童の育成に努める。</p> | 児童 | 84.4 | 教職員 | 100.0↑ | 保護者 | 91.9↓ | 地域住民 | 90.0 |
| 児童 | 84.4 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0↑ | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 91.9↓ | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 90.0 | | | | | | | | | | |
| A3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合80%以上 | ①学習や行事等で事前に目標を設定する場を設け、実践後に振り返りを行わせ、努力の過程を認め、具体的なよさを称賛していく。 ②目標に向かって取り組む姿勢を児童相互が認め合い、励まし合えるよう指導する。 ③学習の見通しをもたせ、継続的に取り組ませることで、成果を実感できるようにする。 | B | 【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>89.6</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>93.8↑</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>76.9↓</td></tr> </table> <p>学習や各行事で、めあてと振り返りを位置付けて行ってきた。数値指標は児童、教職員ともに達成することができた。 【次年度の方針】 児童が相互に頑張りやを称賛する場を引き続き設定し、保護者にその姿を具体的に発信していく。</p> | 児童 | 89.6 | 教職員 | 93.8↑ | 保護者 | 76.9↓ | | |
| 児童 | 89.6 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 93.8↑ | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 76.9↓ | | | | | | | | | | |
| A4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合80%以上 | ①体育や特別活動において健康に関する授業を通して、日常の健康管理に興味をもたせ、健康的な生活が送れるような実践的態度を育てる。休み時間の外遊びを奨励し、体力の増進を図る。 ②食や健康について関連のある題材や学級活動で、栄養士や養護教諭と一緒に授業を考え、専門的な見方や考え方に触れさせ、理解を深めることができるようにする。 ③日常の指導や学級活動、保健の学習を通して、感染症予防の意識を高めるとともに、新しい生活様式についての知識・技能を身に付けることができるようにする。 | B | 【達成状況】 <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>93.5</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>78.9</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>数値指標は、児童・教職員ともに達成することができた。 【次年度の方針】 望ましい生活習慣を身に付けることができるように、学級活動や保健の学習において場面に応じた指導の充実を図るとともに、各種健康チェックを充実させる。</p> | 児童 | 93.5 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 78.9 | 地域住民 | 100.0 |
| 児童 | 93.5 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 78.9 | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|----|------|-----|-------|-----|-------|
| <p>A5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①日々の授業や行事等において、児童一人一人のよさや成長を認め励ますとともに、協力して生活することのよさについて指導を行う。</p> <p>②児童相互に認め合う場を意図的に設け、よさや成長を実感できるようにする。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 145 1501 212"> <tr> <td>児童</td> <td>83.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>93.8</td> </tr> </table> <p>数値指標は、児童・教職員ともに達成している。</p> <p>【次年度の方針】 自分の成長や変化について自分自身で考えたり、友達に教えてもらったりすることで、学校に貢献することのよさに気付かせていくとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛するようにする。</p> | 児童 | 83.1 | 教職員 | 93.8 | | |
| 児童 | 83.1 | | | | | | | |
| 教職員 | 93.8 | | | | | | | |
| <p>A6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①児童が進んでコミュニケーションがとれるよう、ALTや外国の人と会話する基本形（例）を作成し、活用を促す。</p> <p>②教材教具を作成し、児童が進んでコミュニケーションを図る活動を充実させる。</p> <p>③英語に関心を高めるために、放送等を取り入れ啓発を図る。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 539 1501 607"> <tr> <td>児童</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>81.3↓</td> </tr> </table> <p>数値指標は、児童・教職員ともに達成しているが、教職員の割合が昨年より減少した。</p> <p>【次年度の方針】 英語でコミュニケーションを図る場を引き続き工夫し、ALTとの日常的なコミュニケーションを図ることができるような多様な発信の場を設定していく。</p> | 児童 | 87.0 | 教職員 | 81.3↓ | | |
| 児童 | 87.0 | | | | | | | |
| 教職員 | 81.3↓ | | | | | | | |
| <p>A7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①身近な郷土資源を学習に取り入れながら、宇都宮学（3年生以上）においても教材開発に努め、宇都宮の良さに触れる機会を増やせるよう年間計画に位置付ける。</p> <p>②宇都宮学の内容を学年だより等で保護者に伝え、宇都宮の良さをともに理解できるように啓発していく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 860 1501 958"> <tr> <td>児童</td> <td>84.4</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>81.3</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>73.0</td> </tr> </table> <p>数値指標は、保護者の割合が達成していなかった。宇都宮の良さに触れる取組を行ったが、保護者に周知することが不十分であった。</p> <p>【次年度の方針】 学校全体で積極的に宇都宮の良さについての啓発活動を行っていく。</p> | 児童 | 84.4 | 教職員 | 81.3 | 保護者 | 73.0 |
| 児童 | 84.4 | | | | | | | |
| 教職員 | 81.3 | | | | | | | |
| 保護者 | 73.0 | | | | | | | |
| <p>A8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 90%以上</p> | <p>①各教科や領域等の授業や行事等で活動内容や目的に応じてICT機器の適切な使い方を学び、効果的に活用できるよう指導する。</p> <p>②適正な学校図書館蔵書及び環境整備に努めるとともに、チャレンジ読書を推進したり、市図書館から貸し出しを受けたりして、学習に必要な図書が活用できるようにする。</p> <p>③家庭での利用の約束を徹底するとともに、家庭学習でも効果的に活用できるようにする。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1218 1501 1317"> <tr> <td>児童</td> <td>90.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.2↑</td> </tr> </table> <p>学習内容に応じてICT機器と図書資料を使い分けて、効果的に活用することができた。</p> <p>【次年度の方針】 学校での活用は十分に行えているので、家庭での利用の約束を継続して指導していく。</p> | 児童 | 90.9 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 89.2↑ |
| 児童 | 90.9 | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | |
| 保護者 | 89.2↑ | | | | | | | |
| <p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①環境問題や防災等の、「持続可能な社会」に係る内容を各教科の授業とどう関連させるかを意識しながら指導することによって、関心を高める。</p> <p>②教職員がSDGsの意味を理解し、授業や各種教育活動等に関連付けられるよう研鑽する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1588 1501 1664"> <tr> <td>児童</td> <td>89.6</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>81.3↑</td> </tr> </table> <p>読書活動の一貫として、関連する本の貸出を促進したことで、教育効果が得られた。</p> <p>【次年度の方針】 児童の実態に応じ、教科等や単元を見通して位置付け、関連を図った指導を継続していく。</p> | 児童 | 89.6 | 教職員 | 81.3↑ | | |
| 児童 | 89.6 | | | | | | | |
| 教職員 | 81.3↑ | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|
| 目 指 す 学 校 の 姿 | <p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 90%以上</p> | <p>①児童指導主任や特別支援教育コーディネーターが情報を集約し、全教職員が児童に関する情報交換の場を設け、支援や配慮が要する児童に関する共通理解を図り、組織的に対応する。</p> <p>②特別な支援を要する児童の実態や状況に応じて、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携を図るなど、チームとして機能を生かし、支援及び指導を充実させる。</p> <p>③朝の学習時間の活用や、習熟度別学習及びチームティーチングを行い、きめ細かな支援をしていく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>特別な支援を要する児童に対して、個別の指導だけでなく、職員一丸となって組織的に対応することができている。</p> <p>【次年度の方針】 スクールカウンセラーや関係諸機関と連携を図るなど、チームとして機能を生かし、支援及び指導を充実させるようにする。</p> | 教職員 | 100.0 | | | | | | |
| | 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | |
| | <p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①「いじめゼロ強調月間」に児童会主催の「えがおいっぱい集会」を行うとともに、いじめゼロポスターの掲示・道徳の時間の充実等により、いじめをしない・させない・許さない学校文化を構築する。</p> <p>②定期的な教育相談やいじめアンケート等により、全職員で共通理解のもと組織的な対応をし、未然防止・早期発見・早期対応に努める。</p> <p>③学校の取組について、学校だよりや学年だより、HP等で保護者へ積極的な情報発信を行う。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>98.7</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>79.4↓</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>90.0</td> </tr> </table> <p>数値指標は、児童・教職員では達成したが、保護者の肯定的回答割合が昨年より減少した。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、いじめアンケートや職員間の情報交換等で早期発見、早期対応していく。</p> | 児童 | 98.7 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 79.4↓ | 地域住民 | 90.0 |
| | 児童 | 98.7 | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 79.4↓ | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 90.0 | | | | | | | | | | |
| <p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①児童の自己有用感や自己肯定感を高められる場になるよう、日々の授業や諸活動で児童が活躍する場面を実現し、相互に認め励ますことができるよう学級経営を充実させる。</p> <p>②日々の観察をはじめ、教育相談週間によるアンケート調査や相談結果、Q-U調査等を活用して、不登校の未然防止に努めるとともに児童の変化に対して迅速かつ組織的に対応する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.7</td> </tr> </table> <p>日々の活動で、自己肯定感を高められる活動ができるよう意識して指導にあたった。</p> <p>【次年度の方針】 日々の授業や諸活動で、児童の自己有用感や自己肯定感を高められるようにする。また、職員間だけでなく、外部との連携を充実させ、不登校の未然防止の取り組み方について多角的に考えられるようにする。</p> | 児童 | 96.1 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 91.7 | | | |
| 児童 | 96.1 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 91.7 | | | | | | | | | | |
| <p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①児童の自己肯定感や主体性を高め、居がいを感じながら学校生活を楽しく送れるようにするため、各行事や児童会活動、集会活動等を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定する。</p> <p>②児童一人一人の特性やよさを的確に把握するとともに、話をよく聞き、声をかけ、よさを認め伸ばす指導を繰り返す行う。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>93.5</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94.3</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>学校の様子が、保護者に伝わってきていると考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 学校生活の満足度を上げ、児童を通して保護者の理解を深めていく。また、情報提供に努める。</p> | 児童 | 93.5 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 94.3 | 地域住民 | 100.0 | |
| 児童 | 93.5 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 94.3 | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| <p>A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒児童・保護者・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①「宇都宮モデル」の指導過程を活用した授業改善を行うことで、分かる授業を実現する。</p> <p>②パワーアップタイムを使い、基礎的な学習内容の習熟を図る。また、複数の教員が指導に関わることで個に応じた指導を充実させ、学力向上につなげていく。</p> <p>③学力向上の取組として、家庭学習の充実を図り、学年だよりやHPで、保護者に伝えていく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>94.8</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>93.9</td> </tr> </table> <p>問題解決的な学習デザインを講じてきたことで、児童主体の学びが促進され、学力向上につなげることができた。</p> <p>【次年度の方針】 学習に応じて、授業の展開を工夫し、引き続き児童主体の学習を行っていく。</p> | 児童 | 94.8 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 93.9 | | | |
| 児童 | 94.8 | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 93.9 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-----|-------|-----|-------|------|-------|------|-------|
| <p>A 15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①学校の全教職員が同じ目標のもとに、情報を共有しながら、学校目標の実現に向けて、教育活動の充実を図る。</p> <p>②関係者が協力して取り組めるよう管理職のマネジメント力の向上を図り、学校の組織力を強化する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 143 1501 181"> <tr> <td>教職員</td> <td>93.8</td> </tr> </table> <p>全教職員が同じ目標のもとに情報を共有しながら、組織的に対応することができた。</p> <p>【次年度の方針】 互いに連携を図りながら、教職員全員で校務に取り組む体制づくりに努める。</p> | 教職員 | 93.8 | | | | | | |
| 教職員 | 93.8 | | | | | | | | | |
| <p>A 16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①各自が勤務時間を意識し、長時間労働を削減するために、効率的かつ計画的な業務遂行に努める。</p> <p>②学校における働き方改革を推進するため、業務の精選・見直しなどを行う。</p> <p>③教職員相互に業務支援を行い、連携しながら課題解決に努める。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 367 1501 405"> <tr> <td>教職員</td> <td>93.8</td> </tr> </table> <p>教職員が勤務時間を意識して、業務遂行できている。</p> <p>【次年度の方針】 働き方改革の意識や職場環境を改善しながら、さらに業務の効率化を図る。 (リフレッシュデーの推進など)</p> | 教職員 | 93.8 | | | | | | |
| 教職員 | 93.8 | | | | | | | | | |
| <p>A 17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以上</p> | <p>①小中合同のあいさつ運動を行うことで小中学生の交流を図る。</p> <p>②6年生を対象とした乗り入れ授業や中学校訪問を行うことで中学校の様子について学ばせるとともに小中学生の交流を図る。</p> <p>③地域学校園での取組を、たよりやHPで保護者に積極的に発信していく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 629 1501 757"> <tr> <td>児童</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.9↑</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>保護者の肯定的回答割合が、数値指標に達しているとともに、昨年より大きく増加した。</p> <p>【次年度の方針】 地域学校園内での取組を進め、保護者や地域住民に対して、より一層の情報発信に努める。</p> | 児童 | 96.9 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 88.9↑ | 地域住民 | 100.0 |
| 児童 | 96.9 | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | |
| 保護者 | 88.9↑ | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | |
| <p>A 18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以上</p> | <p>①授業や行事等の内容を吟味して積極的に出前講座を活用し、教育活動の充実を図る。</p> <p>②地域の教育資源を、授業や行事等で効果的に取り入れていく。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1014 1501 1142"> <tr> <td>児童</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.4↑</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>出前講座や地域の教育資源を授業や行事等で取り入れた。</p> <p>【次年度の方針】 随時見直しを図り、年間指導計画に位置付けていくとともに、地域資源を生かしていく。</p> | 児童 | 96.1 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 91.4↑ | 地域住民 | 100.0 |
| 児童 | 96.1 | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | |
| 保護者 | 91.4↑ | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | |
| <p>A 19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 85%以上</p> | <p>①普段から校舎内外の巡視をするとともに、月1回施設設備の安全点検を実施し、必要な箇所の修繕に迅速に取り組む。</p> <p>②火災、地震、竜巻、不審者侵入等避難訓練を通して、緊急時における対応を確認するとともに、危機管理マニュアルの見直しと整備を適宜行う。</p> <p>③教職員及び保護者を対象にした心肺蘇生法講習を実施し、AEDの操作や救命法についての訓練を行うとともに、保護者と地域に向けてAED設置と活用についての通知を配付する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1368 1501 1464"> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>91.7</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0</td> </tr> </table> <p>安全確認を日々行うとともに、適宜修繕に取り組むことができたが、保護者の肯定的回答割合が昨年より減少した。</p> <p>【次年度の方針】 教職員の危機意識を高め、未然防止に役立てるようにするとともに、利用する人に安全がどのように配慮されているか、情報発信に努める。</p> | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 91.7 | 地域住民 | 100.0 | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | |
| 保護者 | 91.7 | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | |
| <p>A 20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員肯定割合 80%以上</p> | <p>①一人一台端末を授業で有効に活用できるよう教材研究に取り組む。</p> <p>②校務支援システム、デジタル連絡ツールなどの使い方を把握し日頃から活用できるようにする。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1134 1816 1501 1854"> <tr> <td>教職員</td> <td>93.8</td> </tr> </table> <p>一人一台端末を授業で有効に活用できるよう教材の研修に取り組んだ。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、一人一台端末を授業で有効に活用できるよう教材研究に取り組むとともに、研修などにおいて、資質向上に努める。</p> | 教職員 | 93.8 | | | | | | |
| 教職員 | 93.8 | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|---|------|------|-------|------|-------|------|-------|------|---|
| 本校の特色・課題等 | <p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以上</p> | <p>①日常的なあいさつや（廊下での）会釈など、あいさつの方法について随時指導しながら、模範的な児童を称賛し、意識化を図る。</p> <p>②<u>地域学校園の「あいさつ運動」を継続するとともに、地域協議会の「あいさつ標語」も活用しながら、あいさつを進んで自然にできるようにしていく。</u></p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>90.9</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>93.8</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>89.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>90.9</td></tr> </table> <p>継続して、時と場に応じたあいさつの定着を図ってきた</p> <p>【次年度の方針】 教職員のあいさつに関する意識付けを図っていく。また、日常的なあいさつや（廊下での）会釈など、あいさつの方法について随時指導しながら、模範的な児童を称賛し、意識化を図る。</p> | 児童 | 90.9 | 教職員 | 93.8 | 保護者 | 89.2 | 地域住民 | 90.9 | A |
| | 児童 | 90.9 | | | | | | | | | | |
| | 教職員 | 93.8 | | | | | | | | | | |
| | 保護者 | 89.2 | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 90.9 | | | | | | | | | | | |
| <p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒各対象者肯定割合 80%以上</p> | <p>①「上西小『5つのあたり前』」を徹底するために、強化週間を設けたり、代表委員会の活動や高学年が主体となって強化する活動を取り入れたりして、<u>児童が意識的に取り組めるように工夫をする。</u></p> <p>②上西スマイル賞表彰に「あたり前」の内容を加え、きまりやマナーを守っている児童を称賛する場を設け、実践意欲を喚起する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>89.6</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>93.8</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>97.2</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>90.9</td></tr> </table> <p>代表委員会の活動で、「5つのあたり前」に関する行事を設け、児童が意識できてきた。そのため、あたり前にある行動ができるようになってきた。</p> <p>【次年度の方針】 日常生活指導の充実を図り、職員が同一歩調で組織的、継続的な指導を行う。</p> | 児童 | 89.6 | 教職員 | 93.8 | 保護者 | 97.2 | 地域住民 | 90.9 | B | |
| 児童 | 89.6 | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 93.8 | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 97.2 | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 90.9 | | | | | | | | | | | |
| <p>B3 児童は、上河内地区のお祭り、催事、作品募集などの地域行事に参加している。</p> <p>【数値目標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①<u>上河内地区のお祭り、催事、作品募集などについて紹介し、積極的に参加できるようにする。</u></p> <p>②各教科等の授業において、<u>上河内地区の特産物を調べたり他の地域と比較したりするなどの学習を通して、上河内地区のよさに気付くことができるようにする。</u></p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>81.8</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>94.4</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>81.8</td></tr> </table> <p>児童、地域住民の肯定的回答割合が数値目標に達していない。</p> <p>【次年度の方針】 上河内地区の行事について紹介したり、各教科等の授業において上河内地区の特産物を調べたりするなどして上河内地区のよさに気付くことができるようにする。</p> | 児童 | 81.8 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 94.4 | 地域住民 | 81.8 | B | |
| 児童 | 81.8 | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 94.4 | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 81.8 | | | | | | | | | | | |
| <p>B4 児童は、縦割り班の活動などで他の学年の児童と協力して活動している。</p> <p>【数値目標】 ⇒児童・教職員肯定割合 85%以上</p> | <p>①児童会活動等で縦割り班活動の充実を図る。</p> <p>②「なかよしタイム」の実施等、班の自主性を重んじ、異学年児童の交流がさらに深まるような活動や内容を工夫する。</p> | <p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr><td>児童</td><td>94.8</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>100.0</td></tr> <tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr> </table> <p>児童会活動を中心に、集団づくりの実効性が向上していることが要因と考えられる。</p> <p>【次年度の方針】 交流の際に、活動の目的や相手との関わりに関心をもたせ、活動により深みが出るように指導する。</p> | 児童 | 94.8 | 教職員 | 100.0 | 保護者 | 100.0 | 地域住民 | 100.0 | A | |
| 児童 | 94.8 | | | | | | | | | | | |
| 教職員 | 100.0 | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 100.0 | | | | | | | | | | | |
| 地域住民 | 100.0 | | | | | | | | | | | |

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・「児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。」(A1)」の肯定的回答割合は、児童、教職員、保護者において、数値指標の80%を上回るとともに、宇都宮市全体の平均を上回っている。他者と協力したり、授業の展開の仕方を工夫したりするなど努めてきた成果と考える。
- ・「児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。」(A8)」の肯定的回答割合は、児童、保護者において、昨年の値を上回るとともに、宇都宮市全体の平均を上回っている。各教科、領域等の授業や行事等で、活動内容や目的に応じてICT機器を適切に活用してきたためと考える。
- ・「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。(A18)」の肯定的回答割合は、児童、教職員、保護者において90%を上回るとともに、宇都宮市全体の平均を上回っている。地域の教育資源や出前講座を授業や行事等で効果的に取り入れたためと考える。
- ・「児童は、縦割り班の活動などで他の学年の児童と協力して活動している。(B4)」の肯定的回答割合は、児童、教職員、保護者、地域住民において90%を上回っている。児童会活動を中心に、縦割り班の活動などにおいて異学年児童の交流をしてきたためと考える。
- ・「児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。(A3)」の肯定的回答割合は、保護者、教職員において、市の平均を下回る結果となった。次年度は、児童が相互に頑張りを称賛する場を引き続き設定するとともに、保護者にその姿を具体的に発信していく。
- ・「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。(A4)」の肯定的回答割合は、保護者、教職員において、市の平均を下回る結果となった。次年度は、児童が健康・安全を意識しながら生活できるよう、場面に応じた具体的な指導を継続して実施する。

7 学校関係者評価

- ・健康や安全についての項目は、教職員と保護者の肯定的回答割合の違いが大きいため、保護者の意見を聞いたり、保護者に情報を発信したりするとよい。
- ・いじめ対応についての項目は、教職員と保護者の肯定的回答割合の違いが大きいため、保護者が求めているものを教職員がつかめていないのではないかと考える。
- ・地域のお祭りやイベントに来年度は小学生も参加させてやりたい。祭りなどに参加することは今後の地域づくりにつながるよい経験になるであろう。
- ・縦割り班活動において学校全体で活動できることはすばらしい。今後も続けてほしい。
- ・教職員と保護者の肯定的回答割合の差がある項目については、学校の情報をPRするとよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・学校だよりや学年だより、学校HP等を適宜有効に活用し、情報発信に努めていく。
- ・家庭・地域と連携し、家庭や地域から信頼される「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ・縦割り班活動で他の学年の児童と協力して活動するなど、少人数を生かした教育活動を通して、望ましい人間関係を醸成していく。
- ・地域の教育資源を生かした活動を通して、地域への愛着を育むことができるようにしていく。